

## 経営陣の与信リスクに対する認識

チェックポイント		留意点	確認資料
与信管理の重要性に関する経営陣の理解	与信管理について経営陣が明確な方針を持ち、堅実な業務運営に努めているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理部門と営業部門を実質的に分離するなど、売上・利益を優先した過度の与信を排除しているか</li> <li>● 連結ベースでの与信リスクの所在と管理体制について正確に理解しているか</li> <li>● 与信管理に対する方針・目的が明確になっているか</li> <li>● 与信ポートフォリオ分析による全体管理について、その意義を十分理解し、管理会計への的確な反映、与信リスク管理面の強化などに有効に活用することの重要性を認識しているか</li> <li>● 自己資本など財務体力に見合った与信管理の必要性を認識しているか</li> </ul>	与信管理規程、ヒアリング

## 与信ポートフォリオ分析

チェックポイント		留意点	確認資料
洗い出しのプロセス	分析に必要な取引先を洗い出せているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業部門や関係会社が総与信残高の8割以上の取引先を洗い出せているか</li> <li>● 名寄せ作業が適切に行われ、取引先に対する全社与信残高が把握できているか</li> </ul>	与信ポートフォリオ分析記録
格付基準	会社格付の基準は適正か	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定量・定性要因の組み合わせによる客観的な格付基準が存在しているか</li> <li>● 格付基準は、倒産確率などを算出でき、与信リスクを定量化できるものか</li> <li>● 格付基準は定期的に見直しが行われているか</li> <li>● 格付基準は、社内の誰もが容易に理解できるものか</li> <li>● 高格付先の問題・事故案件発生が皆無ないし僅少と言える範囲か</li> </ul>	与信管理細則
与信ポートフォリオの評価	与信ポートフォリオを評価する体制整備が進んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業部門や関連会社を含め、特定の業種や特定企業ないし企業グループなどへの与信が集中しているかを定期的にチェックしているか</li> <li>● 与信ポートフォリオの取引先の分布状況や財務体力から適正な与信管理ルールが構築できているか</li> <li>● 与信リスク測定のためのシステムサポート体制を整備しているか</li> <li>● 与信リスクの定量化へ向けた体制を整備しているか、定量的に把握する手法を確立しているか</li> </ul>	与信ポートフォリオ分析記録
適正な引当額の評価	与信リスクの定量分析をもとに適正な引当額の算定を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引当基準は会計監査人の引当に関する考え方と整合的か</li> <li>● 引当額は定量化した与信リスク量と比較して適当か</li> <li>● 定量化した与信リスク量は貸倒実績率と比較してどうか</li> </ul>	与信ポートフォリオ分析記録
報告体制の整備	明確なレビュー方針のもと、役員会などに的確な報告を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営陣に対し、与信ポートフォリオの分析結果を定期的に報告しているか</li> <li>● 経営陣への報告の際、状況に応じて規程の問題点など、改善につながる内容についても経営陣に適宜報告しているか</li> </ul>	マネジメントレビュー議事録

## 与信管理規程の順守状況

チェックポイント		留意点	確認資料
取引先の定量・定性評価	取引先の経営実態の良否を十分に把握しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取引先の決算書の信頼性をチェックしているか</li> <li>●決算書による財務内容分析、キャッシュフロー把握などを実施しているか</li> <li>●取引先の実在および現場の状況を、訪問することで把握できているか</li> <li>●各種の信用情報を収集しているか</li> <li>●取引先の分析を行う際、業界・業種の特性を考慮に入れているか</li> </ul>	与信限度申請書、与信限度審議書
取引実態の把握と管理体制の評価	取引先の評価だけでなく、取引の流れを十分に検討しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回収条件は適切かをチェックしているか</li> <li>●立替資金負担は大きすぎないかをチェックしているか</li> <li>●受領書などの債権の存在を示す書類は残る形になっているか</li> <li>●特約の入った基本契約を締結しているか</li> </ul>	与信限度申請書、与信限度審議書
審議の実施	審議は適切に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取引先に定量・定性要因の組み合わせによる客観的な格付を分析して付与しているか</li> <li>●格付などを勘案して与信限度を設定しているか</li> <li>●格付を踏まえ利益率などを勘案しているか</li> <li>●申請書の様式が適切かチェックしているか</li> </ul>	与信限度申請書、与信限度審議書
営業部門専決案件	営業部門に対する与信権限の委譲が適切か	<ul style="list-style-type: none"> <li>●営業部門への権限の委譲が、財務体力や経営方針、業容に照らして適切かどうか</li> <li>●営業部門専決案件に対して管理部門が事後チェックを行っているか</li> </ul>	与信限度申請書
管理部門審議決裁案件	審議内容を反映した決裁となっているか 牽制機能が有効に働いているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●決裁者が審議意見を踏まえて、営業部門に対し必要に応じて追加調査や取引条件付加を指示しているか</li> <li>●大口取引先や高シェアを取る集中管理対象取引先に関して決裁者は管理方針を指示しているか</li> </ul>	与信限度審議書
取引先の業況トレース	与信先について、実行後の財務分析などによる業況トレースを行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●与信限度に期限を定めて見直しを行っているか</li> <li>●必要に応じて決算期ごとの財務分析、信用調書などによる分析、現場の変化のフォローアップを実施しているか</li> <li>●必要に応じて審議・管理に必要なかつ十分な業況や経営状態に関する最新データ、信用情報を常に収録しているか</li> <li>●債権推移表を作成し、取引が決済条件通りに実施されていることを確認しているか</li> <li>●取引先の管理状況や取得担保の価値算定を行い、リスクを把握できているか</li> </ul>	与信限度審議書
与信管理システムなどの整備	事前審査・中間管理などに有効に機能するシステムを整備・活用しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機能的な与信管理・債権管理システムを導入し、活用しているか</li> <li>●取引先に対する連結ベースの債権の状況、過去推移を抽出できるか</li> <li>●回収異常、限度違反をタイムリーに検知できるシステムとなっているか</li> </ul>	回収異常報告書
規程違反発生の有無	規程違反発生の事実がないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事後決裁となっているものはないか</li> <li>●与信限度違反は頻発していないか</li> <li>●回収異常、与信限度違反に対する対処はタイムリーに取れており、報告もされているか</li> </ul>	与信限度違反報告書

## 問題先管理

チェックポイント		留意点	確認資料
問題先管理のための施策	問題先を重点管理するための体制が整っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●問題先債権を区分し、別途管理しているか</li> <li>●問題先からの回収計画が明確で、かつ営業部門・管理部門が一体となって管理しているか</li> <li>●問題先について、毎月の業況トレースや適時の資金繰りチェックを実施しているか</li> <li>●問題先経営者から常時経営実態をヒアリングし、適切に指導しているか</li> <li>●問題先に対する再建案を策定し、その実行可能性をチェックし、フォローアップしているか</li> </ul>	問題先報告書
担保管理・評価替え	債権保全に配慮しているか	全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>●担保管理の基準(時価評価など)は妥当か</li> <li>●与信先の業況変化に応じて機動的な保全強化を実施しているか</li> </ul>	与信限度審議書
		不動産担保 <ul style="list-style-type: none"> <li>●実地調査を励行しているか</li> <li>●定期的に評価替えを実施しているか</li> <li>●担保余力を常時把握しているか</li> </ul>	与信限度審議書
		有価証券担保 <ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的に評価額見直しを実施しているか</li> <li>●状況に応じ、随時の評価額見直しも実施しているか</li> </ul>	与信限度審議書
		個人保証 <ul style="list-style-type: none"> <li>●保証意思確認書など(署名は自署)で保証意思・第三者担保提供意思を確認しているか</li> <li>●保証人の資産状況、年収、健康状態等を把握し、定期的に見直しを実施しているか</li> </ul>	与信限度審議書
報告体制の整備	問題案件について、経営陣に的確な報告を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明確なレビュー方針のもと、経営陣に対し、業況、取組状況を定期的(四半期ごとなど)に報告しているか</li> </ul>	問題先報告書

## 人材育成

チェックポイント		留意点	確認資料
与信管理能力向上のための人材育成	国内・海外とも組織的に審査管理担当者のレベルアップを図っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常の業務運営を通じて、従業員の与信管理意識や能力向上に向け努力しているか</li> <li>●各部門、各階層の教育・訓練を定期的に行っているか</li> <li>●教育・訓練実施に対しその有効性を評価しているか</li> </ul>	与信管理教育・訓練報告書
人材育成の計画	管理部門は、人材育成に関して明確な計画を有しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●OJTが適切に機能しているか</li> <li>●資格・職務に応じた適切な研修プログラムを設定しているか</li> <li>●業務内容の変化、与信管理体制の変化に応じて教育・訓練計画を適時修正しているか</li> </ul>	与信管理教育・訓練計画書
マニュアルの整備	チェックポイントなど、与信・審査マニュアルを整備し、統一的取り扱いができる体制としているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●与信・審査マニュアルを作成しているか</li> <li>●問題・事故発生を通じて内容の適時見直し・改訂を実施しているか</li> </ul>	与信管理規程細則、与信管理テキスト、事故・回避事例集